

# 国語科学習指導案

日 時 令和2年11月17日(火)

児 童 留萌市立留萌小学校 第1学年2組 20名

指導者 五十嵐 文人

- 1 単元名 シャしんと文から、だれがなにをしたかをたしかめよう  
「うみへのながいたび」(10時間扱い)

## 2 単元について

### (1) 教材観

『うみへのながいたび』は、白くまの親子が海まで長い旅をする過程を描き、白くまの兄弟の成長と、それを見守る母ぐまの様子が分かりやすく書かれている。また、白くまの生態を伝える写真が、児童の興味を引くとともに、場面の様子や白くまの気持ちを想像する活動を助けてくれる。さらに、( ) や「 」でくくられて表記された内言語や会話表現を音読することで、白くまの親子の様子や心情を想像することもできる教材である。

本教材では、白くまの気持ちを想像して紹介する「せりふはっぴょうかいをしよう。」という言語活動を設定する。単元前半では写真と文章を手がかりに、登場人物である白くまが何をしたのか、できごとを時系列で確認しながら読み進めていく。その中で内容の大体を捉えたり、登場人物の行動を具体的に想像したりする力を身に付けさせたい。単元の終盤では読み取ったことをもとにして、感じたことや想像したことを書く活動を充実させたい。そのために、児童の考えを表出させやすくする手段として思考ツール「ステップ・チャート」や「ピラミッド・チャート」を活用し、順序や自分の主張を明確にする活動を通して、子どもの思考力を高めていきたい。

### (2) 児童観

国語の学習に意欲的な児童が多い。特に、物語や説明文の学習では、新しい教材の学習が始まると、家で何度も本文を読んできている。また、授業中の音読も意欲的に行い、すらすら読むことができる児童が多い。「はたらくじどう車」の学習では、多くの児童が役割とつくりについての確に読み取る力を身に付け、自分の選んだ乗り物について説明することができた。一部には、すらすら読むことや自分の考えを表現すること、板書をノートに書き写すことを苦手としている児童もいる。日常の学習では、友達の考えを参考にするために、自由に友達のノートやワークシートを見合う時間を設定している。その際に、「〇〇くんの考えが分かりやすい。」「この考えいいね。」などのつぶやきが聞こえるようになってきていて、コロナ禍でできる学び合いの一つとして定着してきている。

### 3 研究の視点との関わり

#### (1) 視点1 自己の学習を見通し、振り返る主体的な学び

- ①興味や関心を高める
- ②見通しをもつ
- ③自分と結び付ける
- ④粘り強く取り組む
- ⑤振り返って次へつなげる

単元の導入では、白くまの気持ちを想像して紹介する「せりふはっぴょうかいをしよう。」という言語活動を提示する。これは、教科書にある『4 ひろげよう』の内容「かあさんぐまや、子ぐまになったつもりで言葉を考えて、発表しましょう。」を踏まえて設定したものである。白くまのセリフを考えるためには、「(ア) 誰が何をしているのか、(イ) どのような出来事が、どのような順序で起きたのか」をしっかりと読み取らなければならない。この言語活動を設定することで、(ア) や (イ) をより意識しながら読むため、児童の読みが深まると考えた (①②)。

単元前半では、繰り返し音読し、写真と関係付けながら内容の大体を捉えることができるようにする。登場人物や季節、場所、場面ごとの母さんぐま・子ぐまの様子を想像するなどの活動を通して、白くまになりきってセリフを考えさせることを通して、普段の生活でも人の気持ちになって考えられる第一歩としていきたい。(③)

学習の最後には、「お話と写真から、だれがなにをしたのかについて考えることができた。」について◎○△の記号を使った振り返りを行う。また、なぜその記号を選んだのかについて、教師との対話を通して学びの自覚を促していく (⑤)。

言語活動「せりふはっぴょうかいをしよう。」のイメージ



そとって、こんなに  
あかるいんだ。  
すごーい！

そらが、あおいね。  
きもちいいね。  
あなの中とはぜんぜんちがうね。

## (2) 視点2 思考を広げ、確かな学びに向かう対話的な学び

- ①互いの考えを比較する
- ②多様な情報を収集する
- ③思考を表現に置き換える
- ④多様な手段で説明する
- ⑤共に創り上げる
- ⑥協働して課題解決する

本単元では、「ステップチャート」「ピラミッドチャート」を活用する。「ステップチャート」は順序が明確になるよさがある。そのため、時を表す言葉に気を付けて読みながら、文章を出来事順に並べ替える際に活用する。「ピラミッドチャート」は下から上を書くことを整理していくことで、自分の主張を明確にすることができる。本時では、複数ある写真から、自分が好きな写真を選択する際に活用する。交流の場面では友達の考えを参考にして自分の意見を練り上げる「レベルアップタイム」を設定する。コロナ禍の中で十分な対話ができないが、自由に席を立てて友達のワークシートを見ることで、自分の考えに自信をもつことや考えを深めたり広げたりすることを目的としている。自分の考えを変えたり、参考になる考えを加えたりする際には赤鉛筆で書くようにし、思考の変容を視覚的に捉えさせたい。その後、全体交流で、選んだ写真と読み取ったこと(写真を選んだ理由)を関連付けながら発表させたい(①③⑤⑥)。

### 4 単元の目標

- ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。
- ・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。
- ・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。
- ・経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。
- ・言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとすることができる。

### 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</li><li>・()や「」の気持ちや、言葉の響きなどに気を付けて音読している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。</li><li>・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「せりふはっぴょうかい」に向けて、学習の見通しをもって粘り強く内容の読み取りを行っている。</li></ul>

6 単元の指導計画

時数	主な学習内容および学習活動	■評価規準 ( ) 評価方法 【 】研究の視点
①	<p>べんきょうすることを <u>かくにんしよう</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のゴールを提示する。【全体】</li> <li>・単元のとびらで、写真と文から誰が何をしたかを確認しながら、『うみへのながいたび』を読むことを確認する。【全体】</li> <li>・教師による範読を行う。(全文)【全体】</li> <li>・児童による音読を行う。(全文)【個】</li> <li>・場面分けをして、感想を発表する。【全体】【個】</li> </ul>	<p>■語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(行動観察)</p> <p>■場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(ワークシート)</p>
②	<p>どんなおはなしか <u>たしかめよう</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による範読を行う。(全文)【全体】</li> <li>・写真の枚数を数える。【個】</li> <li>・児童による音読を行う。(全文)【個】</li> <li>・写真を1枚ずつ確認する。【全体】</li> <li>・写真①～④と文章を比べながら、大体の場面の様子をつかむ。【全体】</li> </ul>	<p>【視点1 ①②③⑤】 興味・関心, 見通し, 自分と結びつける, 振り返って次へつなげる</p>
③	<p>どんなおはなしか <u>たしかめよう</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童による音読を行う。(全文)【全体】</li> <li>・写真⑤～⑨と文章を比べながら、大体の場面の様子をつかむ。【全体】</li> <li>・全体を通してどんなお話なのか, 1文で表現する。【個】</li> </ul>	
④	<p>おはなしのようすを <u>そうぞうしよう</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童による音読を行う。(全文)【全体】</li> <li>・写真と文章を比べながら, 登場人物, 季節, 場所をおさえ, 場面ごとの母さんぐま, 子ぐまの様子を具体的に想像する。【全体】</li> </ul>	<p>■場面の様子に着目して, 登場人物の行動を具体的に想像している。(ワークシート)</p> <p>【視点1 ⑤】 振り返って次へつなげる</p>
⑤	<p>白くまのしゃしんを <u>くらべよう</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童による音読を行う。(1～2場面)【全体】</li> <li>・生まれた時の様子(生まれた時の大きさや時期, 生まれた場所など)を確認する。【全体】</li> <li>・白くまの兄弟の成長が分かる言葉を見つける。【個】</li> <li>・写真①と写真②を比べ違いを見つける。【全体】</li> </ul>	<p>【視点2 ①③⑤】 考えの比較, 思考を表現に置き換える, 対話</p>
⑥	<p>できごとを <u>じかんどおりに ならべよう</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童による音読を行う。(全文)【全体】</li> <li>・時の流れを表す言葉を見つけて発表する。【個】</li> <li>・ステップチャートにまとめながら, できごとの「順序」を確認する。【全体】</li> </ul>	

<p>⑦ (本時)</p>	<p>一ばんすきなしゃしんをえらんで、ともだちにしょうかいしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピラミッドチャートで段階を踏んで写真を整理する。【全体】 (9枚→3枚→1枚)</li> <li>・好きな写真とその理由を発表する。【個】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■段階を踏んで好きな写真を選ぶ活動を通して伝えたいことを明確にしている。(ワークシート)</li> <li>■一番好きな写真とその理由を伝え合おうとしている。(行動観察)</li> </ul> <p>【視点1 ⑤】 振り返って次へつなげる</p> <p>【視点2 ①③⑤⑥】 考えの比較, 思考を表現に置き換える, 対話, 学び合い</p>
<p>⑧ ⑨</p>	<p>せりふはっぴょうかいのじゅんぴをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習を振り返る。【全体】</li> <li>・前時に決めた写真に吹き出しを付け、せりふを考える。【個】</li> <li>・どのようにせりふを読むと良いかを考えながら、発表の練習をする。【個】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「せりふはっぴょうかい」に向けて学習の見通しをもって粘り強く内容の読み取りを行っている。(ワークシート)</li> </ul>
<p>⑩</p>	<p>せりふはっぴょうかいをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白くまの親子が思ったことや考えたことが分かるようにせりふ発表会を行う。【全体】</li> <li>・単元の学習を振り返る。【個】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■()や「」の気持ちや、言葉の響きなどに気を付けて音読している。(行動観察)</li> </ul> <p>【視点1 ①②③⑤】 興味・関心, 見通し, 自分と結びつける, 振り返って次へつなげる</p>

7 本時の実際

(1) 本時の目標

- ・ 段階を踏んで好きな写真を選ぶ活動を通して伝えたいことを明確にすることができる。
- ・ 一番好きな写真とその理由を伝え合おうとすることができる。

(2) 本時の展開 (7 / 10)

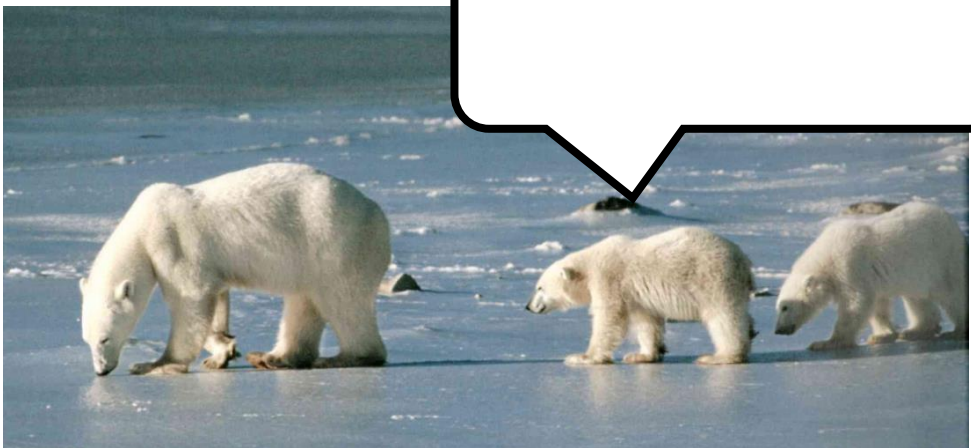
過程 (分)	○主な学習活動 ( ) 活動形態 ・ 予想される児童の発言等	◇教師の主な働きかけ ※留意点	■評価規準 ( ) 評価方法 【 】 研究の視点 ▲努力を要すると判断される児童への手立て
導入  (7)	○学習のゴールを確認する。(全体) ・ 学習のゴールは、セリフ発表会をすることだ！  ○課題を確認する。(全体) 一ばんすきなしゃしんをえらんで、 ともだちにしようかいしよう。	※掲示物を確認しながら行う。  ※9枚の写真を見て、 どんな場面だったかを確認する。	【視点1 ①②】 興味・関心, 見通し
展開  (33)	○ピラミッドチャートで整理する① (個) 5分 9枚の写真から3枚の写真を選ぶ。選んだ理由を付箋に書いて、真ん中の段に貼る。 ・ ははぐまが、子ぐまをまもってすごかったから。 ・ 白くまが、うみへいくのにがんばれとおもったから。  ○レベルアップタイム (全体) 10分 自由に立ち歩いて、友達のピラミッドチャートを見る。 ・ こんな理由があるのか。付け足そう。 ・ ○○さんと同じ理由だ。一緒に良かった。  ○ピラミッドチャートで整理する② (個) 5分 3枚の写真から1枚の写真を選ぶ。 ・ 自分が一番好きな写真は、これにしよう！  ○好きな写真とその理由を発表する。(ペア) 3分 ・ (写真を持って相手に見せながら) 私が選んだ写真は、この写真です。わたしは、○○が△△していて、□□だと思ったからです。  ○だれにしようタイム (全体) 3分 ・ 良いと思った友達を決めるために、写真と理由を見に行く。  ○推薦者を選び、写真を紹介する。(全体) 7分 ・ ○○さんです。理由は△△だからです。 ・ 選んだ写真とその理由を発表する。	※赤・青・緑の写真から1枚ずつ選ぶように指示する。 ※理由は、わたしは、誰が、何をして、どう思ったのを書く。  ※友達の考えを取り入れたり、自分の考えを修正したりする場合には、赤で書く。  ※好きな写真 (A4) を配付し、裏に理由を書いた付箋を貼って発表する。  ※3～4人程度発表を行う。	【視点2 ①③⑤⑥】 考えの比較, 思考を表現に置き換える, 対話, 学び合い ▲教科書や掲示物を参考にしながら、理由を考えるように支援する。  ■段階を踏んで好きな写真を選ぶ活動を通して伝えたいことを明確にしている。 (ワークシート)  ■一番好きな写真とその理由を伝え合おうとしている。(行動観察)
終末  (5)	○ふりかえりを行う。 ・ 「お話と写真から、だれがなにをしたのかについて考えることができた。」について記号(◎・○・△)による自己評価を行う。	※自己評価後、教師との対話を通して学びの自覚を促す。	【視点1 ⑤】 振り返って次へつなげる

名まえ

うみへの

ながいたび

ブック



ゴール

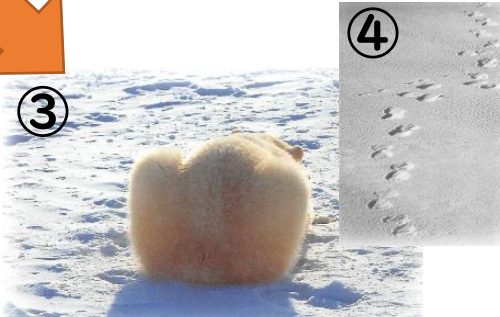
おはなしとしゃしんから、  
だれがなにをしたのかについ  
てかんがえることができた。  
◎・○・△で、ふりかえろ  
う。





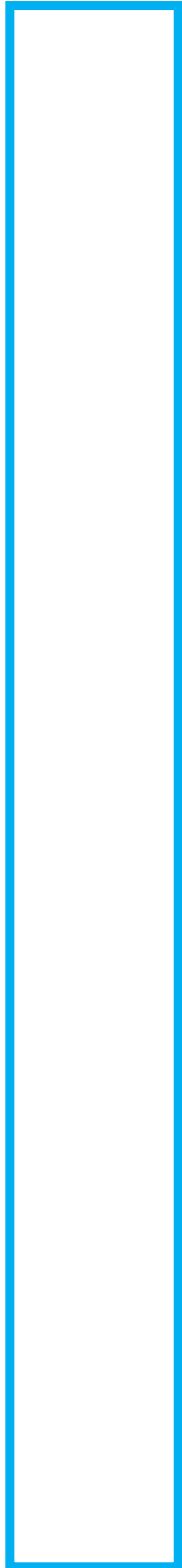
なにをしている	だれが
↓	

なにをしている	だれが
↓	



なにをしている	だれが
↓	

なにをしている	だれが
↓	



おはなしとしゃしんから、だれがなにをしたのかについてかんがえることができた。◎・○・△で、ふりかえろう。



なにをしている	だれが
↓	

なにをしている	だれが
↓	



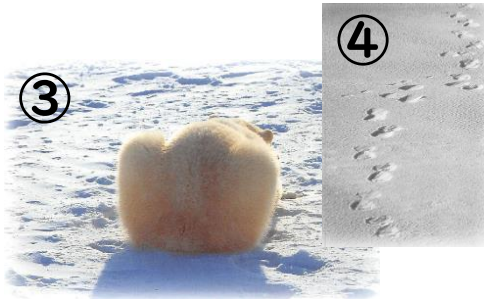
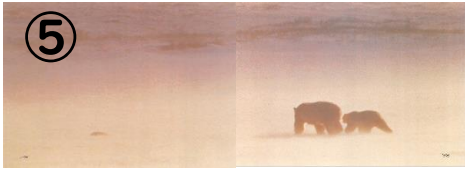
なにをしている	だれが
↓	

なにをしている	だれが
↓	

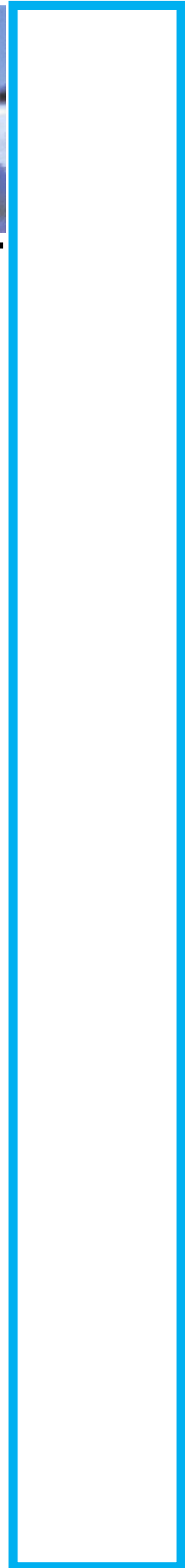


おはなしとしゃしんから、だれがなにをしたのかについてかんがえることができた。◎・○・△で、ふりかえろう。

ばしょ	きせつ	とうじょうじんぶつ

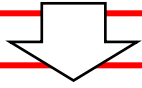


おはなしとしゃしんから、だれがなにをしたのかについてかんがえることができた。◎・○・△で、ふりかえろう。



おはなしとしゃしんから、  
だれがなにをしたのかについ  
てかんがえることができた。  
◎・○・△で、ふりかえろ  
う。

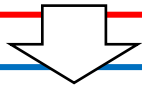
Red rectangular box for writing.



Red rectangular box for writing.



Red rectangular box for writing.



Blue rectangular box for writing.



Blue rectangular box for writing.



Blue rectangular box for writing.

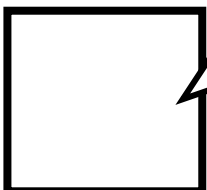


Green rectangular box for writing.



Green rectangular box for writing.

Large vertical blue rectangular box for writing.



おはなしとしゃしんから、  
だれがなにをしたのかについ  
てかんがえることができた。  
◎・○・△で、ふりかえろ  
う。

# 名まえ ( )



おはなしとしゃしんから、  
だれがなにをしたのかについ  
てかんがえることができた。  
◎・○・△で、ふりかえろ  
う。

